

# 資料1

## 平成25年度森林環境税活用事業の総合評価表(案)

No.	事業名	評価				
		現状 のまま 継続	事業を 拡大	事業を 縮小	休廃 止を検 討	改善 のうえ 継続
1	公益林保全整備事業(木材増産推進課)	○				
2	みどりの環境整備支援事業(木材増産推進課)	○				
3	集落ぐるみ捕獲推進事業経費(鳥獣対策課)	○				
4	希少野生植物食害対策事業(環境共生課)	○				
5	環境学習推進事業事務(生涯学習課)	○				
6_1	高校生森林環境理解事業(高等学校課)	○				
6_2	高校生後継者育成事業(高等学校課)	○				
7	山の学習支援事業費補助金(林業環境政策課)	○				
8_1	森林環境税パンフレット等作成委託料(林業環境政策課)	○				
8_2	森林環境税情報誌作成等実施委託料(林業環境政策課)	○				
9_1	こうち山の日県民参加支援事業委託料(林業環境政策課)					○
9_2	こうち山の日推進事業費補助金(林業環境政策課)	○				
10	森林保全ボランティア活動推進事業費補助金(林業環境政策課)					
11	運営委員会等開催事務費(林業環境政策課)					
12	木の香るまちづくり推進事業費補助金(木材産業課)	○				

### 【留意事項】

※高知県森林環境保全基金運営委員による評価(別添資料1参照)を事務局が取りまとめるうえ、各委員の評価を総合して評価欄に記入しています。

※網掛けの事業は平成26年度は実施していないため、評価対象から除いています。

※運営委員会開催事務費は委員が直接関わる経費であるため評価していません。

## 平成25年度森林環境税活用事業評価シート 基金運営委員記入欄

事業No.	資料ページ	1	公益林保全整備事業(木材増産推進課)
	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
1	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」7票、「事業を拡大」1票</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最も重要な事業であるので、国の動向、県民の要望に柔軟に対応していきたい。</li> <li>・森林所有者に好評のようであった。PRも浸透してきているようだが、よりPRをがんばってほしい。要望が多ければ増額してもよいと思う。</li> <li>・荒廃森林を無くす為にも公益林保全整備事業は必要不可欠であり、維持継続をして頂きたい。森林所有者も年々高齢化や単身家族になりつつあるので、補助事業の活用については手厚く解り易い説明等が必要だと思う。</li> <li>・事業実施数、整備面積ともに十分な成果が上がっていると考え。山林所有者から保育間伐のニーズが高いことを受け、事業の現状継続を希望する。</li> <li>・国の補助制度で補えない部分を、基金を活用することで森林所有者の支援をうまく進めてほしい。目標に対する実施率も高く、ニーズに適合した事業だと評価する。</li> <li>・当事業はNO2とともに当環境税の重要な施策である。国の制度補完をする事業で、必要度・要求度も高い。国の制度改変には地域の実態を生かした施策を要求すべきである。</li> </ul>
事業No.	資料ページ	3	みどりの環境整備支援事業(木材増産推進課)
	今後の方向性		見直しの具体的方策に関する意見等
2	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」6票、「事業を拡大」2票</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の事業と県民の要望から判断して、場合によっては拡大するように対応していく(H26は拡大)。</li> <li>・森林所有者に好評のようであった。PRも浸透してきているようだが、よりPRをがんばってほしい。要望が多ければ増額してもよいと思う。</li> <li>・継続要望が多いCO2吸収効果が高い人工林の間伐事業は健全な森林整備事業を行う為にも現状のままの維持継続をして頂きたい。今後も荒廃林を所有している方にも補助事業の活用を促して頂きたい。</li> <li>・事業実施数、整備面積ともに十分な成果が上がっていると考えられるため、事業の現状継続を希望する。</li> <li>・国の補助制度で補えない部分を、基金を活用することで森林所有者の支援をうまく進めてほしい。森林所有者からの継続希望の声も多いとのことなので、ニーズに適合した事業だと評価する。</li> <li>・当期の若林は、吸収・涵養源への影響力が大きく更に持続的な森林づくりに極めて重要な事業である。特に本県のような地域環境では重視すべき事業である。</li> </ul>
事業No.	資料ページ	5	集落ぐるみ捕獲推進事業経費(鳥獣対策課)
	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
3	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」5票、未記入3票</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ昨年度の成果集計がされていないが、何らかの形でシカ対策を続けていく必要がある。</li> <li>・林業家の「意欲」に関してシカ問題はとても重要な位置にあると思う。この問題に関して、多方面からのアプローチを続ける事は重要かと思われる。</li> <li>・鹿を捕獲する為にくりわなを5000個配付しての成果指標や効率指標の集計が遅れるとの事で評価がしにくい。鹿を捕獲するには最適なくくりわな事業は現状のまま維持して頂き、成果指標や効率指標の結果を見ながら事業の方向性を考えて行かなくてはならないと思う。</li> <li>・事業内容(手段)は計画に沿って進められていて、それなりの成果も出ているが、中山間地域の農林業に与える被害の大きさやそれが産業従事者に与える精神的ダメージはまだまだ大きいものがある。将来的には、くりわな以外の手段の導入や調査研究も視野にいれて、事業の改善を進めてほしい。</li> <li>・くりわなの配布・許可講習・技術講習等一連の事業は評価され、また期待される、今後の継続を望みたい、残滓や犬猟との共猟等では課題もある。</li> </ul>
事業No.	資料ページ	7	希少野生植物食害対策事業委託料(環境共生課)
	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
4	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」6票、「事業を縮小」1票、「改善のうえ継続」1票</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期にわたって事業を実施してほしい。また、柵の補修も続けてほしい。</li> <li>・希少野生植物食害対策の重要性は感じるものの、費用、労力に対して、保護できる面積が極めて狭いこと。また、他の研究機関等々の事業・研究に対する補助金であれば良いけれども、この為に県が直接保護柵を作る事には疑問を感じている。</li> <li>・年々箇所数が増え、モニタリングも大変と思うが、補修も重要なのでしっかりやってもらいたい。</li> <li>・希少野生植物は守りぬかなくてはならないので、鹿害から守る為にも現状のまま維持して頂きたい。尚、県内は森や山は広い為に幅広く情報網を巡らせて、鹿等による希少野生の被害がある場合は即座に対応すると共に被害内容に応じて事業拡大も必要だと思う。</li> <li>・被害の深刻化が日々進んで、少しでも効果的な対策が求められている。短期的な成果が出る性格の事業ではないが、事業の継続と、効果的な対策の発見に期待する。</li> <li>・現在、当事業の狙いは「被害の実態の把握と希少植物の保護」だが、これまでの調査で、すでに相当の被害が発生し、拡大しつつあることが確認できているので、この事業を継続して被害が発生している植生を保護ネットで守るとともに、次のステップ「まだ被害が発生していないが近い将来被害を受けると予想される地域の植生を守るための対策」にも着手すべきではと思う。</li> <li>・長期的視野にたった継続的対策が重要である。限定的な事業箇所と広い現地エリア、事態の深刻さにジレンマを感じるが、専門家でなくても(例、山愛好家)できるだけパトロールの増強を。</li> </ul>

## 平成25年度森林環境税活用事業評価シート 基金運営委員記入欄

事業No.	資料ページ	9	環境学習推進事業事務費(生涯学習課)
5	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」7票、「事業を拡大」1票</p> <p>・よいプログラムができているが、内容を見ると先生によっては難しいと思われる記述もあったので、有効活用するには研修が必須に思われる。</p> <p>・学習プログラム作成は高知県の山や川、街等を興味深い内容で取り組んでいて、環境学習の場で活用は最適のものであると思う。自然体験をするには多くの指導者が必要であり、参加者を増やす為にもPR活動が必要。環境学習には必要不可欠なものであるため維持継続をして頂きたい。</p> <p>・「学習プログラム作成」、「指導者養成研修」ともに素晴らしい成果が出ていると思う。現場レベルでの「学習プログラム」の活用事例が楽しみ。また、青少年の山・森・川等の身近にある自然での体験機会が増えるよう、自然リーダーのさらなる普及に期待する。</p> <p>・指導者養成は時間がかかり、すぐに劇的な成果は出ないが、地道に継続し、活動に共感する県民を増やしていくことが10年後、20年後のために必要。インストラクター養成研修後、参加者が少しずつボランティア的活動を増やしているという報告も聞いたので、継続する必要がある事業であると評価する。</p> <p>・「子どもの自然への放牧」の重要性が指摘されて久しい。年を経るごとに、「指導者」が行政、学校等と連携を図りつつ実体験活動を進めてほしい。これが当事業の目的。</p>
事業No.	資料ページ	11	高校生森林環境理解事業(高等学校課)
6-1	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」7票、「改善のうえ継続」1票</p> <p>・身近な自然について考えるよい機会になっていると思う。</p> <p>・県立高等学校が行う環境学習で幅広く成果があがっているようなので現状のまま維持してもらいたい。学校は限られている様なので高知県内に広がりも必要でないかと思う。</p> <p>・人材育成の場として、身近な環境体験の場として、十分な成果が上がっていると考えられるため、事業の現状継続を希望する。</p> <p>・基金活用の規模としてはあまり大きくなく、成果としても、この程度で妥当かと思うが、活用する学校が固定化している。もし、他の学校でもニーズがあるようであれば積極的に活用してもらいたいと願う。環境教育の中で、高校生が自主的に研究することが、県民の税金の活用方法や、高知県の郷土の魅力をj知ることjに繋がってほしい。</p> <p>・各校、各地でバリエーションのある地道な取り組みがなされている。体験や成果を広く発表できる機会があればと思う。</p>
事業No.	資料ページ	13	高校生後継者育成事業(高等学校課)
6-2	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」7票、「事業を拡大」1票</p> <p>・新しい林業労働力の確保につながることを願っている。</p> <p>・林業従事者が減少している中で若い林業後継者育成のj為にも必要な事業で多くの高校生に資格を取って頂き、林業従事者になってもらうj為にも事業拡大をして頂きたい。</p> <p>・高校生の林業関連資格取得は林業従事者の育成に直接的につながり、従事者の増加・若返りを含めた、素晴らしい成果だと思う。継続を希望する。</p> <p>・卒業直後の林業への就職にはつながらないかもしれないが、将来の職業の選択肢を広げるためにも、林業関係の学科を学ぶ高校生の育成、教育を支援し続ける必要があると評価する。</p> <p>・時期、時間などでの制約のなかで、資格取得、キャリア教育、進路等で成果をあげている。今後も一人でも多くの参加者増を確保してほしい。</p>
事業No.	資料ページ	15	山の学習支援事業費補助金(林業環境政策課)
7	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」7票、「改善のうえ継続」1票</p> <p>・より多くの学校で利用されるように、要望が多ければ予算を増やしてもよいのでは。</p> <p>・小中学校で木の文化を浸透させる学習になっているので現状のまま継続をして頂きたい。総評の中で記載されてj県で幅広く市町村に広がって行く努力をお願いしたい。</p> <p>・事業回数、参加人数とも十分な成果であるjと考える。現状、実施していない市町村のニーズ掘り起こしに期待する。</p> <p>・開始してから9年たった事業だと聞くと、現在、高知県育ちの県民の中の若い世代(20代前後)が、「木の文化」を身につけた暮らし方(消費活動、生産活動、文化活動等)をしているような実感はあまりないのだが...</p> <p>・この事業も当事業の重要な目玉の一つであり、新規校が増えているのは嬉しい。さらにPRに努めて、新規の学校、市町村増を図ることが必要である。</p>

## 平成25年度森林環境税活用事業評価シート 基金運営委員記入欄

事業No.	資料ページ	17	森林環境税パンフレット等作成委託料(林業環境政策課)
8-1	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」5票、「事業を拡大」2票、「改善のうえ継続」1票</p> <p>・森林、林業をめぐる情勢は、「追い風」ムードを感じるが、県民、国民の関心はかつてほどではなく、経済的なゆとりがなくなっていることもあって、環境や木材の利用への関心は高くないと思う。ポケットフォルダのような工夫はよかった。</p> <p>・小学校の教諭用として新しく企画されたポケットホルダーが配布されるという事で、先生方の方にも森林環境税や高知県の森林の事が周知され子供たちに伝わって行く事で、大変意義のあるポケットホルダーになると思う。アンケートの結果県民の方々は森林環境税の理解が少ない為に事業拡大して理解しやすい方策等を含めたものを考えて行かなくてはならないのではないかと。</p> <p>・アンケート結果の反映や、それに基づくポケットフォルダの作成等、十分な成果・活用ができていていると思う。引き続き、更なる広報を期待する。</p> <p>・今回、小学校教諭対象のポケットフォルダが作成されたことを評価する。広報活動は、広く一般県民に伝えるものを作成することも大切だが、ターゲットを絞って、その層のニーズを満たす必要十分な広報物を量を少なく作成するものとのメリハリをつけることをお願いする。本当に必要な資料であれば、ほしい人はホームページからダウンロードする。環境税のことを知ることで、より多くの県民に「納税者の責任と権利」「高知県の深刻な課題」「高知県の自然の大切さ」などいろいろなことを考えるきっかけになってほしいと思う。</p> <p>・昨年度の調査でも県下の認知度はまだまだ低い。ポケットフォルダの作成等工夫されつつあり内容そのものは良いと思う。今後は、小中学生に向けてのソフトなレイアウトの作成を考えてはどうか。</p>
事業No.	資料ページ	19	森林環境税情報誌作成等実施委託料(林業環境政策課)
8-2	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」6票 未記入2票</p> <p>・毎回評判がよいようで、このまま続けてもらいたい。</p> <p>・森林率日本一の高知県において、子供から大人まで読んで頂け、森や山の事が理解できる雑誌は必要であり、全小中学校に配布という事で、幼い時から森に感心をもって頂く取り組みは素晴らしいものだと思う。この雑誌を通じて親子で森に行きたく事や感心が少ないといわれている若い女性達に森の魅力を伝えて行くには最適の雑誌ではないかと思う。</p> <p>・事業受託者とも十分な関係性ができており、十分な成果・活用ができていている。デザイン・内容・事業者とのやり取り等、ノウハウも蓄積されている。引き続き、更なる広報を期待する。</p> <p>・読者アンケートの回収呼びかけの取り組みで10倍以上の成果を生んだことを評価する。次のステップでは、このアンケートから分かったことを生かした成果を期待する。アンケート活動の成果としては、この事業の中で完結しないもの(mamori作成の中での成果にとどまらず、森林に関係する他の事業のなかで生かされ、成果として結実するもの)も当然あると思う。というより、むしろそれを期待する。アンケートの結果を「MAMORI」の改善だけに使うのではなく、高知県の森林行政の「口」(発信)であるとともに「耳」(公聴)として機能を発揮するようにしてほしい。また、そういう成果をこの事業の成果としてカウントする定性評価も意識してほしい。</p>
事業No.	資料ページ	21	こうち山の日県民参加支援事業委託料(林業環境政策課)
9-1	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input checked="" type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」4票、「事業を縮小」1票、「改善のうえ継続」3票</p> <p>・全般的な関心の低下があると思う。エネルギーの地域的な自給体制づくりの運動などとの連携を考えてはどうか。</p> <p>・広報の方法や利用者の要望を見直して、使いやすい補助にする必要がある。</p> <p>・幅広い人が参加してくれるように工夫してほしい。(なかなか難しいとは思いますが)</p> <p>・多活用ができる国庫補助を活用している団体があるみたいなので当分の間、事業を縮小してボランティア団体と協議をした後、ニーズに合ったものに切り替えて行く必要があると思う。</p> <p>・活動回数、安全研修等は十分な成果であると考えられる。課題である広報については、事業を活用している団体同士の交流や、活動広告の場の強化等、何らかの手立てができるといい。</p> <p>・学校での環境教育、世代を問わない生涯学習のニーズと森林ボランティアを行いたい人とを結び合わせるコーディネーター機能を改善してほしい。森林ボランティアの活動参加者を増やすことは、環境保全だけでなく、生涯学習や県民の健康づくり、地域の人的資源の発掘、地域コミュニティの再生等を促進する可能性がある。</p> <p>・依然として広がりがないように思う。熱意を有している者、団体が固定化していることについての相応の原因、事情があると思われるので、その解決策を探る必要がある。</p>
事業No.	資料ページ	23	こうち山の日推進事業費補助金(林業環境政策課)
9-2	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		<p>「現状のまま継続」6票、「事業を拡大」1票、「改善のうえ継続」1票</p> <p>・バラエティにとんだ事業になっているようで、今後も期待している。</p> <p>・こうち山の日事業内容も多種多様で事業内容も充実していて新聞等に掲載されることも多くなっているようなので事業の応募が多くなるようであれば事業の拡大も必要ではないか。</p> <p>・事業回数、参加人数ともに目標を大きく上回るという素晴らしい成果であり、まだ多様なニーズがあると思われる。事業の拡大を希望する。</p> <p>・参加者数は減少しているが、補助事業受託者が事業主体者間の交流の場を作るなど、実施内容・活動内容の質の向上や事業主体者間の横のつながり作り繋がるようなものも行われていることを評価する。</p> <p>・山、森林への興味関心は相応に高いものがあると思われ、「山の日」の祝日が施行されることを踏まえ、今から受託者とともに各団体等との連携を図り、より有効な活動が展開されることを望む。</p>

## 平成25年度森林環境税活用事業評価シート 基金運営委員記入欄

事業No.	資料ページ	25	森林保全ボランティア活動推進事業費補助金(林業環境政策課)
10	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		
事業No.	資料ページ	27	運営委員会等開催事務費(林業環境政策課)
11	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続		
事業No.	資料ページ	29	木の香るまちづくり推進事業費補助金(木材産業課)
12	今後の方向性(案)		見直しの具体的方策に関する意見等
	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 事業を拡大 <input type="radio"/> 事業を縮小 <input type="radio"/> 休廃止を検討 <input type="radio"/> 改善のうえ継続	<p>「現状のまま継続」7票、「改善のうえ継続」1票</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造施設・設備はいずれ劣化すると思うが、一般的に耐用年数はどのくらいなのか？</li> <li>・かなり定着してきた事業と思う。県内の主要な施設でも木質化が目につくようになってきた。一般市民にどのくらい浸透しているのか、木質化に対してどのように感じているのか知りたいところ。</li> <li>・いろいろなところで木質化がより一層進む一助になればうれしい。</li> <li>・公的施設への高知県産材の利用促進は非常に効果があると思うので現状のまま維持して頂きたい。要望等が多くなれば事業の拡大も必要であると思う。</li> <li>・利用者の多い公共施設での整備が進み、木材利用、事業PRともに望ましい活用成果だと思う。</li> <li>・結果的に多くの木質資源の活用に繋がっている事業であることを評価する。完成された施設・設備が「基金を活用している」ということをもっと県民にアピールできるような改善を望む。</li> <li>・木のよさを体感できるよい機会ともなる事業であり、概して好評のようである。ただこれが、「環境税事業」であるということはあまり知られていないのは残念である。今までもたびたび話題になってきたことでもあり、少しでもその改善策が欲しい。</li> </ul>	